

2 関係詞節の中に I think などの節が使われる場合（連鎖関係詞）



53 His behavior, **which I think** is a big problem, should be improved.

彼の行動は、私が思うに大きな問題なのだが、改善されてしかるべきだ。 453

原理

このパターンには次の3つの特徴がある。

- 1) 関係代名詞の直後で使われる動詞：思考・認識を表す動詞（**think, believe, suppose** など）、または発言や伝達を表す動詞（**say** など）。これらの動詞はその目的語に **that** 節をとる。
- 2) 先行詞として使われる名詞は、1) の動詞の **that** 節内の主語または目的語。これに合わせて、関係代名詞が主格か目的格かが決まる。
- 3) 1) の動詞の後に使われる接続詞 **that** は普通、省略される。特に、先行詞が主語のときは使ってはいけない。

類例 Erena is the only runner in the club **who I believe** can run 100m under 12 seconds. 恵令奈は、100メートル走で12秒を切ることができると思われる、我がクラブ唯一のランナーだ。

You should eat more fruit, **which I suppose** is good for your health. 健康にいいと思うので、あなたはもっとフルーツを食べるべきだ。

You should never do **what you think** is wrong. 自分が間違っていると思うことは、決して行うべきではない。

【!】 この場合に、主格の関係代名詞が省略されることもある。

You should feed children (**who**) **you think** are hungry. お腹が減っていると思う子供たちに食べ物を与えるべきだ。

3 関係代名詞の二重限定

54 Can you think of anybody **(that)** you know **who** can play the piano?

あなたが知っている中で、誰かピアノが弾ける人に心当たりはありますか 454

制限用法の関係代名詞が、同一の先行詞を二重に限定することがある。54では、先行詞の anybody を第1の関係詞節 (that) you know が修飾し、次に anybody (that) you know 全体を、第2の関係詞節 who can play the piano が修飾している。このような場合、第1の関係代名詞は通例省略されるが、第2の関係代名詞を省略することはできない。

Can you think of anybody (that) you know who can play the piano?

類例 I lost the CD **(that)** I bought yesterday **which** was just released last month. 私は昨日買った、先月リリースされたばかりの CD をなくした。

Paul is the only man **(that)** I know **who** owns a brand new iPhone.
ポールは最新型の iPhone を持っている、私の知っている唯一の男だ。

as, than, but はもともと接続詞であるが、関係代名詞と同じような働きをする場合がある。これらは**疑似関係代名詞**と呼ばれることもある。



1 as の用法

- 56 I arrived at the library at **the same time as** you did. 456
私は君と同じ時間に図書館に到着した。
- 57 It was **such a depression as** our country had never known. 457
それは我が国が今まで経験したことのないほどの恐慌だった。
- 58 He seemed to be exhausted, **as** I could tell from the way he walked. 458
彼の歩き方からわかるように、彼は疲労困憊しているようだった。

疑似関係代名詞の as は、the same / such / as とセットで用いられる。56 〈**the same ... as** 〉(～するのと同じ…)、57 〈**such ... as** 〉(～するような…) という意味になる。いずれも制限用法で用いる。

類例 He looked exactly **the same as** his younger brother.
彼は弟と瓜二つだった。

Tokyo is **as good a** place to live **as** Chicago.
(かたく) 東京はシカゴと同じくらい住みやすい街だ。

これに対して58の as は非制限用法で、主節全体を受けて補足的説明を加えている。先行詞である主節は as の前にも後にも置くことができる。

【！】 非制限用法で次のような慣用的な表現もある。これらはすべて、主節の内容が関係代名詞 as の先行詞と考えられる。

As is often the case with Tom, he was late for the class.

トムにはよくあることだが、彼は授業に遅刻した。

As was usual in all his work, the novel was written with elegance.

彼のすべての作品のように、その小説は優雅な文体で書かれていた。

The helping of fried rice was so generous, **as is usual with** that restaurant.

そのレストランではいつものことだが、炒飯はたっぷりと盛り付けられていた。

As was expected, Mr. Suzuki was re-elected as Mayor.

予想されたように、鈴木氏は市長に再選された。

As was their custom, they welcomed their guests with hospitality.

(かたく / 文) いつものように、彼らは宿泊客を手厚くもてなした。